科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

（カリキュラム・マップ　1/4）

					ミナー	大学教育入門セ	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	スポーツ健康科学	イエンス・デザイン入門	数理・データサ	地域コアⅠ	地域コアⅡ	地域コアⅢ	歴史学	法学（日本国憲法）	基礎物理Ⅰ	基礎物理Ⅱ	基礎化学	のためのデータサイエンス	習	数理・データ基礎サ演	医療統計学入門	医学入門	生命倫理学Ⅰ	生命倫理学Ⅱ	医療コミュニケーションとチーム	地域医療プログラム	験早期体	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅱ	基礎生物学	生命現象の科学	人体解剖学	数理・データ入門サ
				必修・選択・選択必修		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	選択必修	選択必修	選択必修	選択	選択	選択必修	選択必修	選択必修	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
				教育課程表区分		共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	メディプロ	メディプロ	メディプロ	メディプロ	地域医療	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	医科学研究
				履修年次		1年次																									3年次		1年次			
				科目番号	GISEM180	GBFOR180	GBFOR181	GBFOR182	GBFOR183	GBHEA180	GBBAC181	GCITM180	GCSSE180	GCNPE180	GSHCU181	GSSNT182	GSSNT187	GSSNT188	GSSNT189	GSSNT193	GSSNT191	GSSNT192	41FOU101	41FOU103	41FOU104	41FOU105	41REG106	41BAS101	41BAS102	41BAS103	41BAS104	41BAS107	41RES101
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。	C										C																			
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。							C											C	C		C	C								
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。							C											C	C		C	C	C							
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。	C																													
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。	C																													
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。																					C		C	C						
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。								C	C			C	C	C	C	C														
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。																					C		C	C						
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。																					C									
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。																														
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。																					C									
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。																					C	C								
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。							C			C							C	C				C		C	C	C	C		C	
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。						C				C									C					C	C	C	C		
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。																														
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。																														
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。																								A						
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。	C																													
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。																					C									
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。																														
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。																														
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。																														
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。																						C								
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。							C											C	C											
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。																				C	C	C		C						
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。																														
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。							C											C	C											C
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。																				C				C						
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。		C	C	C	C																									
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。																														
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。																				C				C						
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。																														
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。	C									C												C							
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。																														
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。										C																				
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。																								C						

科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

（カリキュラム・マップ　2/4）

					コ研Ⅰス実践初級	コ研Ⅰス実践上級	医療経済学入門	哲学的人間学	教養特別講義	芸術学	教育学	医学英語Ⅰ	医学英語Ⅱ	医療Ⅱシコミュニケーションとチーム	地域医療学Ⅰ	生体物質の代謝	と遺伝発現情報制御の維持	構組織、機各能臓器の	習画像解剖総合演	スと個ホ体メのオ調タ節シ機構	能中と枢構神造経系の機	個体の発生	生体と微生物	免疫と生体防御	感染症診断実習	礎放と射線応医用学の基	医療統計学	医学英語Ⅲ	医学英語Ⅳ	医の原則	法医学	地域医療学実習	療社会と医学・医
			必修・選択・選択必修		選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	選択	必修
			教育課程表区分		医科学研究	医科学研究	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	共通教育	医学英語	医学英語	メディプロ	地域医療	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎医科学	基礎臨床医学	医科学研究	医学英語	医学英語	メディプロ	メディプロ	地域医療	地域医療
			履修年次		1-4年次		2年次																					3年次					
			科目番号		41RES103	41RES104	GSSNT184	GSHSC282	GSHSC283	GSHCU280	GSSNT286	41ENG201	41ENG202	41FOU206	41REG201	41BAS205	41BAS206	41BAS209	41BAS210	41BAS211	41BAS212	41BAS213	41BAS214	41BAS216	41BAS219	41CLM224	41RES202	41ENG303	41ENG304	41FOU308	41FOU311	41REG303	41REG304
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。										C																		
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																									C			
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。										C															C			C
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。																												
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。																												
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。										C															C			
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。				C	C	C	C																					
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。										C																C		
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。										C															C			
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。																												
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。										C																		
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。										C	C														C		C	C
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。										C			C			C					C				C			
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。			C									C	C	C	C	C	C	C	C	C					C	C	C	C
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。												C	C		C			C	C							C		
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。																												
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。																												
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。	A	A																										
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。										C																		
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。																												
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。												A			B				A	A	C							
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。																												
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。															B													B
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。																											C	
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。										C															C			
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。																												
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。	C	C																			C				C			C
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。	A	A												C														
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。								A	A														A	A				
医療人と地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。																												C
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。											C																C	C
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。																									C			C
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。											C																C	
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。																												C
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。																					C							
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。																												

科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

（カリキュラム・マップ　3/4）

					生体と薬物	原因と病態	血液・リンパ・造血器系	神経系	皮膚系	運動系（筋骨格）	循環器系	呼吸器系	消化器系	腎臓内科	泌尿器系	乳房女性生殖機能	代謝内分泌・栄養系	眼・視覚系	精神系	放射線と防護の応用	研究室配属	医科学研究コースⅠ	医科学研究コースⅡ	実用医学英語Ⅰ	医療コミュニケーションⅢ	危機管理への配慮と安全	地域医療学Ⅱ	社会医学・医療Ⅱ	耳鼻咽喉・口腔系	遺伝医療・ゲノム医療	感染症	腫瘍	免疫・アレルギー疾患
				必修・選択・選択必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
				教育課程表区分	基礎医科学	基礎医科学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	医科学研究	医科学研究	医学英語	メディプロ	メディプロ	地域医療	地域医療	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学
				履修年次	3年次																			4年次										
				科目番号	41BAS317	41BAS318	41CLM301	41CLM302	41CLM303	41CLM304	41CLM305	41CLM306	41CLM307	41CLM308	41CLM309	41CLM310	41CLM311	41CLM312	41CLM313	41CLM316	41RES305	41RES306	41RES307	41ENG405	41FOU407	41FOU410	41REG401	41REG405	41CLM414	41CLM417	41CLM418	41CLM419	41CLM420
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。																													
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																											C		
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。															C					C			C		C	C			
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。																													
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。																													
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。																				C									
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。																													
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。																				C									
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。																				C									
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。																													
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。							C								C					C							C		
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。																				C	C	B	C						
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。																				C									
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。	C		C	C	C	C		C	C	C	C	C	C	C		C								C	C	B			
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C									C	C	C	C	C
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。			C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C									C	C	C	C	C
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。																			A									
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。																	A											
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。															C					C									
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。																													
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。												B																	
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。					B							B			B														
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。					B							B			B								B				B	
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。																													
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。																C				C									
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。																C					C						C		
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。																	C								C				
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。																	C	A	A										
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。																			A										
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。							C																C						
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。																						C	C						
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。																							C						
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。																						C							
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。																							C						
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。																C													
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。																													

科目達成レベル

C:理解できる→ B:説明できる→ A:実施できる

（カリキュラム・マップ　4/4）

					被救急医療・緊急	成長と発達	加齢と老化	症候・病態へのアプローチ	基本的診療知識	基本的診療技能（OSCE）	画像・放射線治療を用いた診断	CBT	実診療参加型臨床実習Ⅰ（4年臨床）	実用英語Ⅱ	演習（オフィスアワー総合）	実診療参加型臨床実習Ⅰ（5年臨床）	実診療参加型臨床実習Ⅱ（5年臨床）	実診療参加型臨床実習Ⅱ（6年臨床）	実践臨床病態学	CPOST OSCE
				必修・選択・選択必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	－	必修	選択	必修	必修	必修	必修	必修	－
				教育課程表区分	基礎臨床医学	基礎臨床医学	基礎臨床医学	診療の基本	診療の基本	診療の基本	診療の基本	－	臨床研修	医学英語	メディプロ	臨床研修	臨床研修	臨床研修	臨床研修	－
				履修年次	4年次									5年次				6年次		
				科目番号	41CLM421	41CLM422	41CLM423	41DIA401	41DIA402	41DIA403	41DIA404	－	41PRA501	41ENG506	41FOU611	41PRA501	41PRA602	41PRA602	41PRA603	－
医療人としての態度	(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム	生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。	① 使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。									B		C	B	A	A		
			② 倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。									B		C	B	A	A		
			③ 医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。						C			B		C	B	A	A		
			④ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。						B			B			B	A	A		A
			⑤ 自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。									B			B	A	A		
			⑥ 多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。									B		C	B	A	A		
	(2) 人間性の形成とコミュニケーション	人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。	① 一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。																
			② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。						B			B			B	A	A		
			③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。						B			B			B	A	A		
			④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。									B			B	A	A		
	(3) チーム医療	医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。					B	B			B			B	A	A		
			② 多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。					B				B			B	A	A		
医療人としての知識・技能	(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修	医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。	① 基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。								A								
			② 基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原理を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。		C						A							A	
			③ 臨床医学（病因、病態、症候）	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。	C	C	C	C	C		C								A	
			④ 臨床医学（治療）	主要な疾患について、治療法を説明できる。	C	C	C				C								A	
			⑤ 自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。									B		A	B	A	A		
			⑥ 生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。									B			B	A	A		
	(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全	医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。	① 病歴聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。		B				B			B			B	A	A		A
			② 身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。		B			B	B			B			B	A	A		A
			③ 検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。		B			B	B	B		B			B	A	A	A	
			④ 診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。	B			B	B	B			B			B	A	A	A	A
			⑤ 治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。	B	B	B	B	B	B	B		B			B	A	A	A	A
			⑥ 医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。						B			B			B	A	A		
			⑦ 説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。					B	B			B			B	A	A		
			⑧ 医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。						B			B			B	A	A		
	(6) 科学的思考	科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学的研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。									C			C	C	C		
			② 科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。									B			B	A	A		
			③ 医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。										A						
医療人としての地域性・国際性	(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点	医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。	① 予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。		C							B			B	A	A		
			② 地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。									B	C		B	A	A		
			③ 国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。									B			B	A	A		
	(8) 福井医療力	福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。	① 福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。									B			B	A	A		
			② 救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。	C					B			B			B	A	A		A
			③ 緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。	C								B			B	A	A		
			④ 教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。									B			B	A	A		